

令和元年第2回滝川市議会定例会市政執行方針等に対する代表質問

質問順位	1	質問者	柴田文男議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 無投票当選についての市長の考え方について	1. 2期連続の無投票当選。率直には喜べないと思われるが、市民の信任の機会がなかった中で、今後の市政運営における留意すべきことについて伺う。			
	2. 政策の優先順位について	1. 市政執行方針の冒頭部分、病院の経営改善と行財政改革、人口減少対策、中心市街地賑わい創出、災害対策など、当然取り組まなければならない行政課題が並ぶが、教育問題も含めて相反する課題にどう優先順位をつけて取り組むのか。市長の考えを伺う。			
		2. 行財政改革では、特に財政分野での議論が優先されると思うが、病院の経営改善までの間の市の財政出動や今後大きな問題として議論されるであろう看護師不足による経営悪化に対し、政策の優先順位にも大きな影響を与えると思われるが、考えを伺う。			
2. 元気な産業と活力あるまちづくり	1. 農商工連携事業について	1. ぶどう栽培やワイン醸造による地域振興は理解できるが、市長の頭の中にあるイメージが聞きたい。この地域振興策によるモデルとなるべき地域について伺う。			

質問順位	1	質問者	柴田文男議員		
件名	項目	要旨		メモ	モ
	2. 農業経営支援策について	1. 地域ニーズに対応したICT技術の導入を進めるとあるが、どのようなものを導入して進めるのか伺う。			
	3. 外国人労働者の受入れについて	1. 今後の問題として、現状の受け止めと民間需要の高まりに向けた基本的考え方について伺う。			
3. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. 中心市街地の賑わいづくりについて	1. 用途地域などの見直しに着手することだが、中心市街地と想定する区域は見直す考えがあるのか。また、中心市街地との概念を見直す時期であるとの意見にはどう考えているのか伺う。			
4. 誰もが住みよい安全安心なまちづくり	1. 防災対策について	1. 総務文教常任委員会において、避難勧告に関するガイドラインの改定について報告を受けた。市が発令する警戒レベル3において、高齢者等は避難とあったが、わかりづらい表現であり、善処すべきものと思うが、見直す考えはないか伺う。			

質問順位	1	質問者	柴田文男議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
		2. 同委員会の説明では、警戒レベル3の時点で避難所は開設済みとの説明であったが、警戒レベル2の段階で開設準備しなければならず、対応は他の要因を含め不可能と思われるが、市長の考えを伺う。			
		3. 避難所の停電時の電力供給確保のため、スポーツセンター第1体育館と東滝川地区転作研修センターに外部電源切替盤を設置することは大変喜ばしいことと思うが、江部乙地区については電力供給に問題はないのか伺う。			
5. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり	1. 子ども子育て支援の実施について	1. さきの市議会議員選挙を通じて、子ども子育て支援の充実を求める声が多く寄せられた。市長の念願でもある子ども子育て支援を実施しなければならない時期に来ている。来年から5か年の計画では間に合わない。3期目の初年度に小学生までの通院費の無料化を実施すべき。段階的な実施でもよいので決断すべきと思う。市長の考えを伺う。			
6. 効率的な行政運営によるまちづくり	1. 会計年度任用職員制度について	1. 本年度条例改正を行うと聞く。極めて運用が難しく、行財政改革にも逆行する恐れがあるとの指摘もある。支出増を大きく伴うものとも聞くが、財政に与える影響額について伺う。			

質問順位	1	質問者	柴田文男議員		
件名	項目		要旨		メモ
7. 学校教育	1. 教職員の働き方改革について		1. 教職員の負担軽減策として、専門スタッフの配置や学校サポート体制の充実などを掲げられているが、肝心なのは教職員の増員である。少人数学級の拡大に向けても必須の対策と考えるが、教育長の考えを伺う。		
			2. そもそも長時間勤務が現状のままでは、いわゆる過労死レベルは脱却できない。目標としている超過勤務時間では過労死レベルから解放されることはないのではないかと思われるが、教育長の考えを伺う。		
	2. 特別支援学級について		1. 重い障害を持って生まれる子どもたちが、少子化と逆行する形で20年前と比べて倍増している。これらの子どもたちの義務教育の実施が課題となっている中で、特別支援学級支援員の新たな設置に敬意を表したい。しかしながら、医療行為を必要とする重度の障害児の対応はどの自治体も後手に回っている。看護師等の配置について教育長の考えを伺う。		
8. 社会教育	1. 公共施設使用料の見直しについて		1. 文化・体育両施設に共通する課題として、市民の間で近隣自治体と本市の利用料金に大きな差があり、利用しづらいとの指摘が多く寄せられている。年1、2回の冠大会など、減免なども考えられる。指定管理を行っている施設がほとんどだが、市民の声に向き合う考えはないか。教育長に伺う。		